

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と福祉Ⅱ		必修	2	1.2	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
梅沢 佳裕	B310	y.umezawa	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p>&lt;目的&gt; 社会福祉の基本理念と原理について学習し、現代社会の福祉について理解を深め、他者に福祉活動や福祉職の重要性を説明できる力を身につけることを目的とする。</p> <p>&lt;概要&gt; 本講では、社会政策と包括的支援体制・福祉政策の動向などについて幅広く講義する。その他、福祉政策の国際比較及び課題について、対面授業を通じて教科書・添付資料をもとに学習する。その後、フィードバックを行い本講の要点となる内容の理解を深める。</p>				
学習上の助言	社会福祉の歴史を紐解くと共に、現代社会の問題や課題に対する相談援助活動まで踏み込む。社会福祉への関心を持ち、現代社会の問題に関する時事については新聞やニュース等から情報収集を行うことが望ましい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座「社会福祉の原理と政策」/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	指定参考なし (テキスト以外の必要資料は別途配布し、引用元として参考図書を紹介する。)				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	福祉政策の構成要素と課程について理解し、説明できる。	HSU(1)、HSU(3)、WP (1) 、WP (2)			
②	福祉政策の動向と課題について理解し、説明できる。	HSU(1)、HSU(3)、WP (1) 、WP (2)			
③	福祉政策と関連施策について理解し、説明できる。	HSU(1)、HSU(3)、WP (1) 、WP (2)			
④	福祉サービスの供給と利用の過程について理解し、説明できる。	HSU(1)、HSU(3)、WP (1) 、WP (2)			
⑤	福祉政策の国際比較について理解し、説明できる。	HSU(4)、HSU(6)、WP (1) 、WP (2)			
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価についての説明) 福祉政策の構成要素について学習する。(第6章 第1節)	講義	シラバスを読んで全体像を把握してくる	4	
2	福祉政策の過程と評価について学習する。(第6章 第2節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
3	福祉政策と包括的支援の現状について学習する。(第7章 第1節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
4	福祉政策と包括的支援の課題について学習する。(第7章 第2節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
5	保健医療政策・教育政策について学習する。(第8章 第1節・第2節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
6	住宅政策・労働政策について学習する。(第8章 第3節・第4節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
7	災害政策について学習する。(第8章 第5節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
8	福祉供給部門について学習する。(第9章 第1節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
9	福祉供給過程について学習する。(第9章 第2節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
10	福祉利用過程について学習する。(第9章 第3節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
11	国際比較の視点と方法について学習する。(第10章 第1節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
12	福祉政策の動向：欧米について学習する。(第10章 第2節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
13	福祉政策の動向：東アジアについて学習する。(第10章 第3節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
14	福祉政策の新しい潮流と国際比較の新しい課題について学習する。(第10章 第4節)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
15	これからの社会福祉―出発点・到達点・展望について学習する。(終章)	講義	教科書を読み、重要な内容について整理を行う。	4	
試	定期試験を実施する。 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	50	0	0	50	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	25	0	0	10	35
	思考・推論・創造する力	0	25	0	0	10	35
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	10	10
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓					
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①	✓	レポートは、1回～15回の授業内容について、課題の提出を求める。授業で学んだ内容を踏まえて、知識を深めることができているかという観点から評価する。				試験の答案用紙は返却しないが、希望学生には採点基準と結果を伝える。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	討論等の際の取り組み状況とリアクションペーパーの内容をもとに評価する。				前回の討議内容とリアクションペーパーを使い振り返りを実施する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p><b>実践的授業の内容：</b>本年度については、冬季の集中講義として開講する。学生が身近に感じている福祉を共有しながら、教科書に記載されている一般的事項を確認する。社会福祉士としての教員自身の実例を示し、専門家が提供する福祉と地域住民が求める福祉に関する認識の違いについて学習する。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 全 15 回が登校型授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。 なお新型コロナの譲許によって、シラバスが変更になることもあり得る。</p>							